

事務事業名	21215 公園事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園マネジメント担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	08	04	06	02	01	記入日	令和 7年 6月10日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	06	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				○ 対象
施策	26	魅力ある公園づくり												● 対象外
事業期間	平成17年度～令和12年度													
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針			
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象														
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）													
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	
	事業費	2,304	2,624	3,897	3,897	3,897	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,304	2,624	3,897	3,897	3,897
	人件費	7,476.15	8,211	8,211	8,211	8,211	
	投入 人員	常勤職員	1.15人	1.15人	1.15人	1.15人	1.15人
		非常勤職員	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
事業費+人件費		9,780	10,835	12,108	12,108	12,108	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況								
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	
令和7年度に実施する取組内容	

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 事務に必要な事業であるため、現状で継続していく。

事務事業名	7546 ちびっ子プール補助金事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園マネジメント担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大・事・業・中・事・業	R7	01	08	04	06	03	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	06	03	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補				
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				○ 対象
施策	26	魅力ある公園づくり												● 対象外
事業期間	昭和46年度～令和12年度													
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針			
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	戸田市民（幼児）													
事業目的	町会地域内の親と子の心のふれあいの場として、ちびっ子プールの活用を促し、近隣社会の意識の高揚と健康で心豊かな人間づくりに寄与する。													
事業内容	該当する町会の創意工夫により、安全で楽しく、ちびっ子プールの運営が行えるように補助金を交付する。各町会に、原則7～8月末までの期間に概ね14回以上、ちびっ子プールを開催することを伝えた上で、開設期間及び実施日時の設定を任せている。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）													
行財政改革の取り組み	地域によっては、ちびっ子プールの運営を担う主体がない等の理由により、開設が出来ない町会が出てきており、公園からちびっ子プールを撤去するケースも出ている。毎年度、各町会に意向を確認し、開設に積極的なニーズと消極的なニーズを捉え、ちびっ子プールの今後のあり方を検討する。													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	
	事業費	1,154	1,582	1,495	1,495	1,495	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,154	1,582	1,495	1,495	1,495
	人件費	2,340.36	1,642.2	1,642.2	1,642.2	1,642.2	
	投入人員	常勤職員	0.36人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
		非常勤職員	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
事業費+人件費		3,494	3,224	3,137	3,137	3,137	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	ちびっ子プールの開設数	か所	35	35	35	35	35
	事務事業成果①	ちびっ子プールの利用者数	人	9,437	9,437	9,437	9,437	9,437
				0	19	29	25	—
				0	1,823	4,156	5,346	—
目標達成状況の分析	<p>C：全ての目標が達成できなかった。</p> <p><判断理由> 令和6年度は、原則7～8月末までの期間に概ね14回以上ちびっ子プールを開催することとし、開催日数及び利用者数については、前年度を上回る結果となったが、目標となるコロナ禍前の参加者数には届かなかった。 また、ちびっ子プールの運営の担い手不足や子どもの減少等（利用者の減少）を理由に開催しない町会が増加したことにより、目標及び前年度の開設数を下回る結果となった。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
				<判断理由> ちびっ子プールは、原則各町会に設置され、町会により運営されてきたことに加え、地域に根差した利用が継続していることから、受益・負担は適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	ちびっ子プールの運営後、各町会からちびっ子プールの運営に係る課題や要望事項等を聴取し、ちびっ子プールにおける課題等を整理し、次年度の開催に向け検討を行った。
令和7年度に実施する取組内容	ちびっ子プールに関する各町会の意向やニーズを確認し、今後のちびっ子プールの開催や運用を検討していく。また、ちびっ子プールの運営に苦慮する町会への解決策の手がかりとなるよう、各町会で運営する際に工夫している事例を集め、各町会へ横展開を図る。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> 町会地域内の親と子の心のふれあいの場や近隣社会の意識の高揚と健康で心豊かな人間づくりに寄与する場であるとともに、市の公園の特徴としても取り上げられることも多くあることから、ちびっ子プール補助金事業については、今後も地元町会が主体となった開催運営を支援していくため、現状で継続していく。</p>

事務事業名	7485 公園維持管理事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園マネジメント担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	08	04	06	03	02	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	06	03	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち										再掲施策			● 対象 ○ 対象外
施策	26	魅力ある公園づくり													
事業期間	平成23年度～令和12年度														
根拠法令 通達等	都市公園法2条の3					関連計画 施政方針		都市マスタープラン 緑の基本計画							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの														
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-1、7-1														
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：														
対象	市民、公園利用者等														
事業目的	公園等に訪れる方々が安心して利用できるように、適切な維持管理を行う														
事業内容	公園等における樹木・施設物の適切な維持管理や利活用に係る運営を行う。														
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO） <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力（町会・自治会）														
行財政改革 の取り組み	包括指定管理者制度の導入による経費削減効果等を検証する。その検証結果を踏まえ、包括指定管理者制度を導入する公園数を検討し、次期包括指定管理者制度の導入に反映していく。														

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	
	事業費	547,932	543,236	954,223	554,216	554,216	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	7,724	9,565	9,565	9,565	9,565
	一般財源	540,208	533,671	944,658	544,651	544,651	
	人件費	19,372.98	21,420	21,420	21,420	21,420	
	投入 人員	常勤職員	2.98人	3人	3人	3人	3人
		非常勤職員	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人
事業費+人件費		567,305	564,656	975,643	575,636	575,636	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	公園の維持管理に携わるボランティア団体数	該当する公園がある町会・自治会の数	42	42	42	42	42
	事務事業成果①	公園の維持管理に携わったボランティア団体数	維持管理に携わった町会・自治会などの団体数	42	42	42	42	42
	強化KPI①	風害による倒木を予防するために高木を剪定した数	災害予防高木剪定とした樹木の本数（累計）	41	41	41	41	—
				200	400	600	800	1,000
				657	471	610	795	—
目標達成状況の分析	<p>C：全ての目標が達成できなかった。</p> <p><判断理由></p> <p>町会の少子高齢化等を背景とした公園維持の担い手不足により、ボランティア団体数に係る2つの指標を達成できなかった。今後、公園リニューアル計画に基づいた公園利活用により、賑わいを創出する活動団体等が公園維持の担い手となるように公園の運営・管理を進めていく。また、災害予防高木剪定については、近年の物価高騰等も影響し、限られた予算内の執行となったことから、指標を達成できなかった。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 身近な公園等の植栽や公園施設を適切に管理することにより、公園利用者が集い憩える安全な公共空間を保全することが出来ており、施策の目標達成に向けて貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 高木の剪定や危険木の伐採を実施することで、経費の抑制を図っており、事業費等の水準は適正である。また、指定管理を導入したことにより、経費の削減につながっている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 市内159公園の内、74園を直営、85公園を指定管理者で管理運営を行う他、町会が清掃等の軽微な作業を受託する等、行き届いた維持管理が励行されており、効率・効果が高い手法である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 公共オープンスペースである公園・緑地を適正に維持することで、景観の向上や生活環境に潤いをもたらしており、受益・負担の公平性は適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	3カ年の社会実験を経て、公園活用を条例に基づく公園の行為許可申請として取り扱うこととし、事業を実施した結果、社会実験に参加した複数の団体により継続的に事業が実施され、公園活用による公園の賑わいを持続させることができた。
令和7年度に実施する取組内容	包括指定管理者の事業により、彩湖・道満グリーンパークの賑わいが市内の都市公園にも波及するように、利活用を図りたい団体や民間事業者のノウハウを活かしながら、公園を拠点とする賑わいの創出を図っていく。また、公園管理における民間ノウハウの更なる活用を目的とし、包括指定管理制度を導入する公園数の拡大について検討する。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針></p> <p>公園施設の長寿命化や樹木の適切な管理を行うことで安全な公園にすると共に、町会による維持管理の継続と新たな担い手の発掘を継続的に進めていく。また、公園での賑わい創出に向け、これまでの社会実験に係る催しを条例に基づく公園の行為許可申請として取り扱うこととし、事業を継続して実施する。</p> <p>公園管理に当たっては、民間事業者のノウハウを活かせるよう、指定管理者制度を導入する公園数拡大について検討する。</p> <p>また、環境空間の有効活用を促進するため、令和9年度のJR東日本との環境空間内の土地交換を見据え、戸田市土地開発公社から土地の買戻しを実施する。</p>

事務事業名	7620 公園施設整備・改修事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園整備担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	08	04	06	04	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	06	04	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち										再掲施策			● 対象
施策	26	魅力ある公園づくり													○ 対象外
事業期間	平成23年度～令和12年度														
根拠法令 通達等	都市公園法3条 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）								関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの														
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-1、7-1														
総合戦略	□ 施策番号：														
対象	市民、幼児から成人、高齢者や障害者等の公園利用者														
事業目的	公園利用者の誰もが安心して安全に利用しやすい施設づくりと、快適な公園づくりを目指す。														
事業内容	新設公園の整備、公園全体の大規模リニューアルや公園施設の長寿命化修繕を実施する。														
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 ■ 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 ■ 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) ■ 協働・協力 ()														
行財政改革 の取り組み															

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	公園施設長寿命 命化工事・公 園施設改良・ 改修、公園施	公園施設長寿命 命化工事・公 園施設改良・ 改修、公園施	公園施設改良 ・改修工事、 改良・改修設 計等	公園施設改良 ・改修工事、 改良・改修設 計等	公園施設改良 ・改修工事、 改良・改修設 計等	
	事業費	140,976	358,401	176,115	383,000	268,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	88,000	260,500	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	52,976	97,901	176,115	383,000	268,000	
	人件費	19,958.07	21,919.8	21,919.8	21,919.8	21,919.8	
	投入 人員	常勤職員	3.07人	3.07人	3.07人	3.07人	3.07人
		非常勤職員	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
事業費+人件費		160,934	380,321	198,035	404,920	289,920	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	公園リニューアル計画に基づいた再整備の着手数	件	1	1	2	2	3
	事務事業活動②	新規公園の整備着手件数	件	1	2	3	4	—
	事務事業成果①	公園リニューアル計画に基づいた再整備の件数	件	0	0	1	1	2
	事務事業成果②	新規公園の整備の完了件数	件	0	0	0	0	1
	強化KPI①	公園リニューアル計画に基づいた再整備の件数	件	0	0	1	2	3
				0	0	0	0	—
				0	0	0	0	—
				0	0	1	3	—
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 予算に基づき目標達成に向けて事業を進めたことにより、公園リニューアル計画に基づく公園整備については、活動・成果ともに目標を達成することができた。しかしながら、新規公園については、土地区画整理事業の進捗状況等により、設計等への着手が困難であったため、目標を達成することができなかった。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 公園リニューアル計画に基づき、笹目地区の圃中公園をモデル公園に選定し、ワークショップでの意見を踏まえた公園設計を実施するなど、施策の目標達成に向けて貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 公園リニューアル計画に基づき、ソフト・ハード・マネジメントの3つの視点で総合的に取り組んできており、経費は適正な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 公園リニューアル計画に基づく各種取組は、ワークショップや市民を主体とする公園活用等、市民が多く参加できる機会の創出に努めており、手法は効率的・効果的である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> モデル公園については、ポテンシャルカルテに基づき、改修後の伸びしろが最も大きい公園を選定し、地域との合意形成を図りながら進めており、受益・負担は適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	公園リニューアル計画に基づき、笹目地区の圃中公園をモデル公園とし、大規模改修に向けたワークショップにて意見交換を実施し、各種議論を重ね、合意形成を図りながら、公園設計に市民等の意向を反映することができた。
令和7年度に実施する取組内容	引き続き、笹目地区の圃中公園において、ワークショップ及び利用者等の意向を反映した、リニューアル工事の令和8年度予算化を行う。また、令和5年度に実施設計した番匠免公園リニューアル工事を実施する。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 公園改修の際は、公園リニューアル計画に基づき、ワークショップ等により地域のニーズを取り入れた再整備を進めていく。なお、公園施設長寿命化計画に記載された改修については、公園リニューアル計画の方針に則り、ポテンシャルカルテ等に基づいた改修等の進行管理に努める。次に、土地区画整理事業により造成された公園予定地は、整備に向けて、順次関係部署と調整を進めていく。更に、彩湖・道満グリーンパークについては、公園施設の利活用と公園以外の湖面周辺の利活用を図る2つの視点を織り交ぜた大規模リニューアルに取り組んでいく。